

平成30年度 施策評価シート

1. 基本情報

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	担当部	福祉保健部
基本施策	2	地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策名称	1	ライフステージに応じた健康づくりの支援		
	施策の方向性	●笑顔があふれ、健康で生きがいをもって過ごせるよう、高齢者の社会参加を推進します。 ●乳児期から高齢者までの生涯にわたり、口腔疾病の予防を図るとともに、生活習慣病の予防に取り組みます。 ●「第2次府中町健康増進計画・食育推進計画」に沿って、すべての世代において、心と体の健康づくりの充実を図るため、住民、関係団体・機関と連携を図りながら、より良く生きるライフスタイルを推進します。 ●妊娠・出産・育児を通じた乳幼児の発育・発達の早期支援や相談体制の充実を図ります。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	中期目標(R2)
1	健康だと感じる人の割合	%	目標値		77.2	77.4	77.6	77.8	78.0
			実績値	77.0	59.0	61.8	57.2		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

目標値については、健康マイレージ制度のポイントカードに記載しているアンケートを集計した数値により算出しています。アンケートの分かりにくさが目標数値の伸び悩みにつながっていると考えられますが、毎年、見直しできないままに実施していることも目標に到達できない一因と思われます。

・評価及び対応方針

令和元年度は、様式の見直しとともに、制度の周知にしっかりと取り組んでいきます。

作成担当部長 福祉保健部長 山西 仁子

4. 今後の展望（評価会議最終評価）

目標値未達成ですが、目標値到達率は60%を超えています。分析内容に留意しつつ、引き続き目標値の達成を目指し、現在の方向性で施策を継続することとしますが、2年にわたりポイントカードの様式変更ができなかったことを重く受け止め、施策に取り組んでください。

【参考】施策の推進に要したコスト

(単位:千円)

区分		No.	事業名称	事業費
施策の成果を 押し上げる 事業	事務 事業計画	1	ふらっとウォーキング事業	4,620
		2	妊婦歯科健康診査事業	1,142
		3	節目年齢歯科健診事業	1,419
		4	健康づくり啓発事業	4,405
		5	任意予防接種費用助成事業	5,540
		6	産科医等確保支援事業	5,600
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
施策の成果を 維持する事業	財政 計画	1	保健衛生一般事務事業	10,362
		2	地域医療事業	14,830
		3	健康増進事業	2,064
		4	予防接種事業	149,469
		5	老成人保健一般事務事業	425
		6	各種検診事業	30,262
		7	母子保健一般事務事業	890
		8	母子健康診査事業	58,137
		9	母子保健推進事業	3,802
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
合計				292,967

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	ふらっとウォーキング事業	事業番号	121101
担当部署名	福祉保健部 健康推進課 建設部 維持管理課		
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	2 地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策	1 ライフステージに応じた健康づくりの支援		

2. 事業概要

ウォーキング環境の整備を行うとともに、ウォーキング講座を開催し、普及促進を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ ふらっとウォーキングコースを活用したウォーキング講座を開催します。（2回） ○ ふらっとウォーキング地区整備事業計画に基づき、ウォーキングコースとなっている路面の舗装打ち換え及び歩道への路面標示設置や既存の総合案内サインのリニューアル工事を行います。 ・路面表示 5か所 ・舗装打ち換え 25㎡ ・総合案内サイン 2か所	○ ふらっとウォーキングコースを活用した「ポールでアクティブにウォーキング」を2回（10月及び11月）開催し、参加者の合計は51人（第1回27人・第2回24人）でした。 また、府中町運動普及推進協議会にふらっとウォーキングコースの利用を働きかけ、同協議会が開催したイベントでふらっとウォーキングコースを利用（コースの一部を含む。）した人数の合計は、122人でした。 ○ ふらっとウォーキング地区整備事業計画に基づき、 ①ウォーキングコースの歩道の舗装打ち換え ②コース上の汚損している路面表示シートの張替え ③コース沿線に案内板及び健康増進器具の設置を行いました。 ・路面表示 4か所 ・舗装打ち換え 121㎡ ・案内板 4か所 ・健康遊具施設 2基

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	参加者数	人	目標値	140	190	190	190	190
			実績値	122	247	173		
			達成状況	未達成	達成	未達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		健康保持増進を図るため、ウォーキングのきっかけづくりを行うことが目的のため、参加者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	5,481	0	93	0	0	5,388
決算	4,620	0	13	0	0	4,607

6. 評価と対応方針（課長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

当初の計画では、事業目標を達成できる見込みでしたが、災害の影響や雨天のため、予定していたいくつかのイベントが中止となり、目標を達成することができませんでした。総合案内サイン等の設置は、計画どおりに終了しました。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

子どもから高齢者までの各世代に運動をする機会を提供するために、ふらっとウォーキングコースの普及啓発を行います。また、府中町運動普及推進協議会等の既存の団体にも、コースの活用を促して利用者の増加に努めます。今後も魅力あふれる講座を開催し、住民の健康の維持・増進に寄与するように事業を展開していきます。

作成担当課長

健康推進課長 山本 進一

7. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

当初の計画では、事業目標を達成できる見込みでしたが、災害の影響や雨天のため、予定していたいくつかのイベントが中止となり、目標を達成することができませんでした。総合案内サイン等の設置は、計画どおりに終了しました。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

新たに整備したコースの活用や魅力ある講座と併せて実施する等、引き続き運動のきっかけづくりとなる事業を実施します。

作成担当部長

福祉保健部長 山西 仁子

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値未達成ですが、目標値到達率は80%を超えていることから、概ね達成と見なします。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	妊婦歯科健康診査事業	事業番号	121102
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	2 地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策	1 ライフステージに応じた健康づくりの支援		

2. 事業概要

妊婦に歯科健診を実施し、妊婦の虫歯や歯周疾患を予防するとともに、生まれてくる子どもへの影響の低減を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 妊娠届提出時に、母子健康手帳と併せて妊婦歯科健康診査受診票を交付します。（1人1回無料。受診見込件数300件）	○ 妊娠届提出時に、母子健康手帳と併せて妊婦歯科健康診査受診票を交付し、妊婦に歯科健診を実施しました。 妊婦1人あたり1回、自己負担金：無料 健診委託単価：4,719円 【実績数】 受診票交付者数 516人 歯科健診受診者数 242人

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	受診率	%	目標値	48.0	48.0	48.0	48.0	48.0
			実績値	49.5	47.4	46.9		
			達成状況	達成	未達成	未達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		妊婦の虫歯や歯周疾患を予防し、生まれてくる子どもへの影響を低減すること等が目的のため、受診率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	1,407	0	0	0	0	1,407
決算	1,142	0	0	0	0	1,142

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析 （事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等） 前年度評価を踏まえ、医療機関における受診勧奨の依頼等を引き続き実施しましたが、事業目標の受診率は未達成となりました。受診率が低下した特別な要因があるとは考えにくく、妊婦健康診査の必要性等についての啓発をより強化する必要があります。											
・ 評価 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 16.6%;">事業効果</td> <td style="width: 16.6%;">高</td> <td style="width: 16.6%;">事業改善</td> <td style="width: 16.6%;">高</td> <td style="width: 16.6%;">今後の方向性</td> <td style="width: 16.6%;">事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続						
・ 評価を踏まえた対応方針 引き続き、妊娠届時の啓発や医療機関での受診勧奨を依頼して妊婦健康診査の周知に努めます。また、11月から開始したマタニティ教室時の歯科衛生士による歯科保健指導や産前コールを通じて、妊婦歯科健康診査の啓発を強化します。											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">作成担当課長</td> <td>子育て支援課長 新見 公平</td> </tr> </table>						作成担当課長	子育て支援課長 新見 公平				
作成担当課長	子育て支援課長 新見 公平										

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析 （事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等） 前年度評価を踏まえ、医療機関における受診勧奨の依頼等を引き続き実施しましたが、受診率が低下し、事業目標は未達成となりました。妊婦健康診査の必要性等についての啓発をより強化する必要があります。											
・ 評価 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 16.6%;">事業効果</td> <td style="width: 16.6%;">高</td> <td style="width: 16.6%;">事業改善</td> <td style="width: 16.6%;">高</td> <td style="width: 16.6%;">今後の方向性</td> <td style="width: 16.6%;">事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続						
・ 評価を踏まえた対応方針 引き続き、妊娠届時の啓発や医療機関での受診勧奨を依頼して妊婦健康診査の周知に努めます。また、11月から開始したマタニティ教室時の歯科衛生士による歯科保健指導や産前コールを通じて、妊婦歯科健康診査の啓発を強化していきます。											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">作成担当部長</td> <td>福祉保健部長 山西 仁子</td> </tr> </table>						作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子				
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子										

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値未達成です。対応方針に沿った改善策を取り入れながら、引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	節目年齢歯科健診事業	事業番号	121103
担当部署名	福祉保健部	健康推進課	
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	2 地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策	1 ライフステージに応じた健康づくりの支援		

2. 事業概要

節目年齢（40・50・60・70歳）の住民に歯科健診の受診機会を設け、成人の口腔衛生の向上を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 節目年齢（40・50・60・70歳）の住民を対象に、歯科健康診査（むし歯と歯周病の検査）を実施します。（受診者見込数365人）	○ 定期的な歯科健診の受診機会を設け、成人の口腔衛生の向上を図るため、節目年齢（40, 50, 60, 70歳）の住民に歯科健診を実施しました。 対象者数 2,852人 受診者数 342人

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	受診率	%	目標値	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5
			実績値	12.7	11.6	12.0		
			達成状況	達成	未達成	未達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		定期的な歯科健診の受診機会を設けることで口腔疾病の予防を図るため、受診率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	1,496	0	956	0	0	540
決算	1,419	0	591	0	0	828

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

対象者に個別通知を行っていますが、事業目標を達成することができませんでした。対象者への通知の工夫や歯科健康診査の必要性を、広報等や他の事業等の機会を利用して周知していく必要があります。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

歯と全身の健康との関係の重要性と定期的な歯科健康診査の必要性について、広く周知し実施していきます。

作成担当課長

健康推進課長 山本 進一

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

対象者に個別通知を行っていますが、事業目標を達成することができませんでした。対象者への通知の工夫や歯科健康診査の必要性を、広報等や他の事業等の機会を利用して周知していく必要があります。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

歯と全身の健康との関係の重要性と定期的な歯科健康診査の必要性について広く周知するとともに、受診しやすい体制づくりについて検討します。

作成担当部長

福祉保健部長 山西 仁子

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値未達成です。受診率の低さから、活動内容の改善を検討するとともに、引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	健康づくり啓発事業	事業番号	121104
担当部署名	福祉保健部	健康推進課	
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	2 地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策	1 ライフステージに応じた健康づくりの支援		

2. 事業概要

健康マイレージ制度等により健康意識の向上や健康づくりを支援し、人とのつながりを深めながら、住民の健康増進を図ります。また、第2次府中町健康増進計画・食育推進計画の中間見直しを行い、後期計画を策定します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
- 町内在住、在園、在学、通勤者とその家族の健康づくりの取組をポイントとして集計し、報奨金に換算して、町内の子どもたちのために活用する健康マイレージ制度を実施します。 - 町民・関係機関、団体の参加、参画と協働により、食育の推進、健康づくり、こころの健康づくりの活動や事業等を実施します。 - 第2次府中町健康増進計画・食育推進計画の中間見直しを行い、後期計画を策定します。	- 平成30年度も7月～9月末までの期間において、健康マイレージ制度を実施しました。 (参加延人数18,000人) - 町が、町民、関係機関・団体と協働することにより、「おむすび体験活動」等の提案事業を実施しました。 - 第2次府中町健康増進計画・食育推進計画の中間見直しを行い、第2次府中町健康増進計画・食育推進計画(改定版)(通称：朝パッ君プラン)を策定しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	健康づくり活動への参加者数	人	目標値	26, 200	26, 400	26, 600	26, 800	27, 000
			実績値	53, 959	55, 371	62, 347		
			達成状況	達成	達成	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		健康意識の向上と自主的な健康づくりを促すことが目的のため、健康づくり活動への参加者数を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	4,686	0	0	0	962	3,724
決算	4,405	0	0	0	962	3,443

6. 評価と対応方針（課長評価）

・分析

(事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等)

健康マイレージ制度の参加者は、平成29年度の参加延人数(17,319人)と比較しても増加しており、制度開始時(平成26年度)の約2.6倍に達しています。制度の周知が進んだことで目標を達成することができました。また、継続して「健康応援団長 朝パッ君」のイラストを関係機関が作成するチラシ等に活用してもらうことで、キャラクターの認知度が上がっています。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

中間見直しを行った第2次府中町健康増進計画・食育推進計画(改定版)に沿って、引き続き、朝パッ君ネットワーク登録団体等と協働で健康づくり事業を推進していきます。また、制度の周知が進んでいる健康マイレージ制度の改善や「健康応援団長 朝パッ君」の周知を一層図るために、SNSでの発信に取り組みます。

作成担当課長

健康推進課 山本 進一

7. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

(事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等)

健康マイレージ制度の参加者は毎年増加しており、目標を達成することができました。制度開始時(平成26年度)の約2.6倍に達しており、小学生から継続して実施している効果であると思われます。継続して「健康応援団長 朝パッ君」を活用することで、キャラクターの認知度も上がっています。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

中間見直しを行った第2次府中町健康増進計画・食育推進計画(改定版)に沿って、引き続き、朝パッ君ネットワーク登録団体等と協働で健康づくり事業を推進していきます。また、健康マイレージ制度の改善及び「健康応援団長 朝パッ君」の周知、さらには、新しい参加者の掘り起こしの事業について検討を進めます。

作成担当部長

福祉保健部長 山西 仁子

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値を達成しています。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	任意予防接種費用助成事業	事業番号	121105
担当部署名	福祉保健部	健康推進課	
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	2 地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策	1 ライフステージに応じた健康づくりの支援		

2. 事業概要

感染症を予防するため、おたふくかぜ・成人風しんの予防接種対象者へ接種費用の一部を助成し、予防接種の普及・啓発を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ おたふくかぜの予防接種費用の一部を助成します。（上限6,000円、助成件数見込988件） ○ 風しん抗体検査で抗体価が十分でないと判断された今後妊娠を希望する女性等を対象に、成人風しんの予防接種費用の一部を助成します。（上限5,000円、助成件数見込56件）	○ 感染症を予防するため予防接種の普及・啓発を図るとともに、任意予防接種（小児おたふくかぜ・成人風しん）対象者の接種費用の一部助成を行いました。 小児おたふくかぜ 対象者数1,108人 接種者数 918人 成人風しん 接種者数 102人

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	接種率（おたふくかぜ）	%	目標値	80.0	80.0	80.0	90.0	90.0
			実績値	137.0	94.3	82.9		
			達成状況	達成	達成	達成		
②	助成件数（成人風しん）	件	目標値	130	130	130	130	130
			実績値	27	74	102		
			達成状況	未達成	未達成	未達成		
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		①感染症予防を図るため、接種率を指標としました。②風しんの抗体がない人が対象のため、助成件数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	6,221	0	0	0	0	6,221
決算	5,540	0	0	0	0	5,540

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

小児おたふくかぜの接種率は目標を達成しましたが、成人風しんの予防接種の助成件数は達成することができませんでした。しかし、全国的な風しん予防の浸透を背景に、母子健康手帳交付時や医療機関受診時の周知協力により、助成件数は増加しています。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

引き続き医療機関への協力依頼や広報等を活用し、接種率の向上に努めるとともに、風しんにおいては令和元年度から再開された広島県の抗体検査事業についてもあわせて周知をしていきます。

作成担当課長

健康推進課長 山本 進一

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

おたふくかぜの予防接種は事業目標を達成した一方で、風しんの予防接種は未達成でしたが、接種件数は毎年伸びており、評価できる事業であると思われます。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

引き続き医療機関への協力依頼や広報等を活用し、接種率の向上に努めるとともに、風しんにおいては令和元年度から再開された広島県の抗体検査事業についてもあわせて周知をしていきます。

作成担当部長

福祉保健部長 山西 仁子

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値未達成ですが、目標値到達率は60%を超えています。分析内容に留意しつつ、引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	産科医等確保支援事業	事業番号	121106
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	2 地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策	1 ライフステージに応じた健康づくりの支援		

2. 事業概要

町内で安心、安全に妊娠・出産できるよう、分娩手当を支給することにより、産科医等の確保を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 町内で安心、安全に妊娠・出産できるよう、産科医等を確保するため、産科医等に対して分娩手当を支給している医療機関に対し、補助金を交付します。 （分娩手当10,000円×分娩件数の2/3。分娩見込件数920件）	○ 町内の医療機関（産科）に対し、1分娩あたり分娩手当10,000円×分娩件数の2/3の補助金を交付しました。 【実績数】 分娩件数 840件

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	産科医院数	医院	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成状況	達成	達成	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		町内産科医の処遇改善を図り、町内の産婦人科を維持するため、産科医院数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	6,133	0	4,600	0	0	1,533
決算	5,600	0	4,139	0	0	1,461

6. 評価と対応方針（課長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

事業目標は達成していますが、産科医等の確保は依然厳しい状況であり、引き続き事業を継続する必要があります。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

引き続き事業を継続します。

作成担当課長

子育て支援課長 新見 公平

7. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

産科医等の確保は依然厳しい状況ではありますが、町内の産科医を確保することで、目標は達成しています。引き続き事業を継続する必要があります。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

このまま事業を継続し、産科医と連携を密にしていきます。

作成担当部長

福祉保健部長 山西 仁子

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値を達成しています。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。